



令和6年4月26日

5月 調布幼稚園だより



『プログラミング的思考について』

園長 山形美津子

入園、進級から3週間が過ぎました。「こどもの日」を祝うかのように、園庭には年長組が作った鯉のぼりが元気に泳いでいます。友達と相談しながら初めての共同作業で作った鯉のぼりが空を泳ぐ姿に、園児みんなが大喜びの日々です。

入園したばかりの年少組は少しずつ園での過ごし方が分かり、24日からはお弁当も始まりました。年中組、年長組は新しい友達や先生と一緒に、新たな環境の中で一生懸命、園生活を過ごしている姿が見られ、これからの遊びや活動が楽しみです。

さて、昨年度、田園調布学園中等部高等部の情報科主任の村山達哉先生に「プログラミング的思考」につながる素地を育む活動を、年中組と年長組の子どもたちに実践して頂きました。今年度も引き続き、村山先生に年長組には月に1回程度、年中組には学期に1回、プログラミングの活動を行って頂くことになりました。

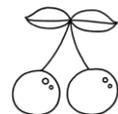
「プログラミング的思考」とは、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力である」と文部科学省の手引きに記載されています。分かりやすく言うと、「最適な方法で問題を解決する」には、どうすべきかという論理的思考を試行錯誤することです。

例えば、自分が行きたい目的地がある場合に、様々な移動手段やルートを組合せ、最短で目的地まで辿り着こうとするのが「プログラミング的思考」です。目的達成のために効率を重視して最適な解決策を筋道を立てて考えることです。この「プログラミング的思考」は、物事を分析する力や物事を組み合わせる力、自分が考えた手順を整理することで物事を一般化する力等が身に付くと言われます。

「プログラミング的思考」を楽しく身に付けるために、村山先生のアクティビティでは、コンピューター等の情報機器を一切使わずに、プログラミング的思考につながる「論理的思考力を育む」ことを目的とした活動（アンプラグドプログラミング）の教材開発をしているそうです。

昨年度は、子どもたちがとても楽しい、面白かったと感想を話していました。今年度も子どもたちが楽しみながら学んでいくと思いますので、お家に帰ってお子さんから話が出たときには、共感し、受け止めていただければ幸いです。

今月は、戸外で過ごしやすい気候になると思いますので、子どもたちは園庭やグラウンド、畑などでも思い切り体を動かして活動していきます。保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご指導ご支援の程、よろしくお願い致します。



<校友会発足記念サクランボの木>

中庭の滑り台の近くにあるサクランボの木は、田園調布学園校友会（法人関係者、各部門の教職員、保護者、卒業生で構成されている会）の発足の記念樹として平成16年12月に寄贈されたものです。

毎年、きれいな花が咲き、その後可愛いサクランボの実をたくさん付けてくれます。調布幼稚園では校友会の皆様のお思いを汲んで大切に育てています。

真っ赤なサクランボが実ったら子どもたちは食べます。年長組は年の数だけ頂きます。子どもたちにとっては、かけがえのない大事な大事なサクランボの木です。

今後の栽培・収穫 計画

幼稚園内の木の実や子どもたちが栽培している物についてお知らせ致します。収穫や調理の方法をその都度検討し、可能な範囲で収穫物の調理は取り入れます。収穫物をどのように調理して食べるかなどの詳細は当日の朝、昇降口に掲示にてお知らせします。掲示物がある時は、気を付けて見るようにお願いします。

学年	園内の木の実・栽培するもの
全園児	サクランボ サトイモ ビワ ウメ ミカン キウイ キュウリ イチゴ 等
年少組	エダマメ カブ
年中組	つるありインゲン オクラ シュンギク ミニトマト ソラマメ ジャガイモ
年長組	ソラマメ ジャガイモ 米 サツマイモ ダイコン

下記の調味料以外を使用する場合は改めてお知らせします。その際に、アレルギーなどご心配な方がいましたら、担任までお申し出下さい。

使用する調味料

砂糖 ・ 塩 ・ 醤油 ・ 酒 ・ みりん
出汁の素 ・ 出汁入り味噌 ・ サラダ油

5月の目標

全学年

- 飼育物や栽培物に関心や親しみをもつ。
- 学年毎に行う栽培物に関心をもち、土づくりをしたり、種や苗を植えて生長過程を見たり収穫に期待をもったりする。

年少組

- 担任に親しみをもち、安心して生活する。
- 担任とのかかわりを基盤に、気に入った場所や遊具を見つけて遊ぼうとする。

年中組

- 担任とのかかわりを基盤に、自分の思いを表しながら友達と遊ぶ。
- 当番活動などを通し、自分たちの生活を自分たちで進めようとする。
- 身近な遊具、用具を使ったり、廃材で工作をしたりなどやりたい遊びを楽しむ。

年長組

- 自分のやりたい遊びに夢中で取り組んだり、友達や担任及び他のクラスの先生たちとのかかわりを楽しんだりしながら、クラスのつながりを感じる。
- 飼育物や栽培物、自然物に関心や親しみをもつ。
- 砂や泥や水などの感触を楽しんだり、特性に気付いて試したりして遊びを楽しむ。
- 新しい場での生活の仕方や片付け方を知ったり、1日の園生活の流れが分かって行動したりする。
- 田んぼの泥の感触を味わったり、田植えをしたりして稲の生長を楽しみにする。

5月 朝の飼育物との触れ合いと、かわいい気持ちの年少さん

顧問 外崎明美

朝、幼稚園で飼育しているものを昇降口の外に出しています。保護者の方とお子さん、子どもたち同士、園長や私とも飼育物との触れ合いを通して、交流の機会になるようにと考えています。その様子と同時に、かわいい年少さんの様子をお伝えします。

「カタツムリって落ちないの？」

冬の間、枯葉の中で眠っていたカタツムリが枯葉を取り除いたところ、4匹のうち3匹越冬に成功しました。キャベツやニンジン、キュウリなどを食べ始めました。雨の代わりにスプレーで水をあげると、飼育ケースを伝って、蓋を開けていたため、ケースから出てきました。「落ちるよ！落ちるよ！」と心配して声をかける子、カタツムリの殻を掴んでケース内に入れようとする子、、、しかしカタツムリは落ちません。その吸着のすごさにびっくりしている子どもたち。カタツムリの特性や食べ物によって、カタツムリのウンチの色が違うことにも気が付くなど、今後興味が広がるといいなと思っています。



「カブトムシの幼虫、 すぐ潜っちゃう」

昨年飼育していたカブトムシが卵を産み、その卵から産まれた幼虫と保護者の方から頂いた幼虫がいます。

朝、おうちの方と一緒に幼虫を掌に載せて得意げにしている子や、掌に載せていると、「ちょん、ちょん」と触って「柔らかい！」「触れたよ！」と、感触を確かめている子もいます。

クヌギマットの中から出しても、出しても、どんどん頭から潜っていきます。「また出してー」との要望に応え、出します。見たり触ったり、、、でも、アッという間に潜って見えなくなります。

これから蛹になるころには、巣穴を作って成虫へと変化していくので触れなくなります。今のうちにたくさん触れて、親しんで欲しいです。夏にカブトムシに羽化するのが楽しみです。

「お花にお水をあげようか」・・年少さん

中庭の丸い花壇にチューリップやパンジーなどきれいなお花が咲いています。朝、年少さんがお花を見ていると、土がカラカラに乾いていました。

先生が「お花がきれいだねー」「あれ、土が乾いているから、お花さん、喉が渇いているかもしれないね。お水をあげようか」と声を掛けると、「あげたい」「私もー」とお水をあげることになりました。

ゼリーやヨーグルト等の空容器に水を汲み、お花にお水をあげていきます。花びらにお水をかけてあげています。お花が顔になっている擬人化した絵本などを見ているので、花びらからお水を飲むと思っているのかもしれませんが。「お花さんは、土にお水をあげるとストローみたいに根っこからお水を飲むよ」と伝えると、「ふ〜ん」と言いながら、不思議そうに地面にお水をあげていました。優しい年少さんにお花も喜んでますね。

